

GPT-5.6がもたらす知財実務のパラダイムシフト：自律型エージェント時代の戦略

GPT-5.6：技術革新と自律的ワークフロー

105万トークンが実現する「全包袋の一括処理」



- 数十件の特許全文
- 数年分の審査履歴
- 複雑な無効論や侵害リスクを分析可能

「Ultra Mode」による知財タスクの並行自律処理



先行技術調査 クレーム作成 図面説明文の記述

投資利益率 (ROI) を最大化するための、
タスク別モデル選択ガイド

モデル名	コスト (100万入力トークン)	知財業務における 推奨ユースケース
Sol	\$5.00	複雑な無効論構築、SEP分析、 高難度分野の明細書作成
Terra	\$2.50	クレームチャート初稿、 中間処理応答案の作成
Luna	\$1.00	大量文書の一括翻訳、 発明提案書の一次スクリーニング



ハルシネーションを克服する
「Thinking」プロセス



実在する公報番号を
正確に特定 実在する公報番号
を正確に特定

法的リスクと次世代知財部門の戦略

2026 — 日本最高裁：AI発明者の完全否定 (2026年)



- DABUS事件の上告不受理
- 発明者は「自然人」に限定



「創出者」から「着想の証明者」への転換

権利行使に備え、AIへのプロンプト履歴を「人間の思考の軌跡」として証跡管理することが必須



先行経営型知財 (IPランドスケープの自律化)

AIが探索されるレーダー
ホワイトスペースを探索



R&Dの初期段階から
事業戦略を先導

AIと専門家が共存する「ヒューマン・イン・ザ・ループ」の役割分担

